

第 13 回 埼玉輸血フォーラム

## 開会あいさつ

埼玉県合同輸血療法委員会 代表世話人 石田 明

---

皆さんこんにちは。埼玉県合同輸血療法委員会の代表世話人を仰せつかっております、埼玉医科大学国際医療センター輸血・細胞移植部の石田でございます。

本日はお忙しい中を第 13 回埼玉輸血フォーラムに参加いただき本当に有難うございます。

このフォーラムも今回で 13 回を数えます。

本来ならば皆様と直接お会いして意見を伺いたいところですが、今回もオンライン開催のみとなります。

オンライン会議には不慣れなためお聞き苦しい点があるかと思いますが何卒ご容赦願います。

さて、本日のプログラムをご覧ください。

すでに 12 時から埼玉協同病院木村秀実先生座長のもと獨協医科大学埼玉医療センターの樋口敬和先生と埼玉医科大学国際医療センターの小林祥一先生のお 2 人に講演していただき先程終了しました。

最近では看護師さんの参加が増えていることから、今回はプレセッションとして看護師向け教育セッションを組み入れましたが、速報で 120 名と沢山の方にご参加いただく事ができました。

この後 13 時 10 分からは 5 名の委員の方に活動報告をしていただきます。

今年度もコロナ禍で満足のいく活動が行えず、恒例となっていたセミナーも開催できませんでしたが、委員と埼玉県赤十字血液センターの方々が進めてくださった地道な活動の成果を報告させて

いただきます。

続いて 14 時 20 分からは、すでに恒例にもなっているパネルディスカッションを予定しています。

今回は緊急輸血という大変難しいテーマを、いつもの劇場スタイルに加えてビデオも交え、これまで以上に見応え聴き応えのある内容に仕上がっています。

15 時 10 分からは、教育講演と特別講演を予定しています。

教育講演では兵庫県の神鋼記念病院看護部の松本真弓先生に「輸血中の安全管理に果たす看護師の役割」という演題でご講演いただき、座長を埼玉県看護協会の深石タカ子先生にお願いしました。松本先生は輸血看護領域のパイオニアとして活躍しておられる著名な方なので、先生のご講演を大変楽しみにされている方も多いのではないのでしょうか。

特別講演では埼玉医科大学病院輸血・細胞移植部の岡田義昭先生に「輸血に関する感染症の現状～ COVID を含めて」という演題でご講演いただき、その座長を埼玉県立小児医療センターの康勝好先生にお願いしました。岡田先生は輸血とウイルス感染症の研究者としてご高名な方です。身近におられても中々お話を伺うことがなく、本日は大変貴重な機会なので大変楽しみにしております。

さあ、いよいよフォーラムの幕開けです。

本日は暦の上では二十四節気の啓蟄にあたりませんが、まさに新しい季節の始まりを思わせる春の陽気となりました。

ざわついた世の中ではありますが、平和の祭典とも言えるパラリンピックも始まりました。

春の息吹と生命の力を感じながら、午後のひとときを埼玉輸血フォーラムとともにゆったりとお楽しみください。